

平成26年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	中性子同時計測を用いた超新星ニュートリノ観測
研究代表者	中畑 雅行
審査の所見	<p>1987年に超新星爆発で発生したニュートリノを初めて観測して以来、日本はニュートリノ天文学で世界の先端を走っている。本研究は、遠い過去の超新星爆発のなごりである反ニュートリノの初観測を目指し、スーパーカミオカンデ（SK）測定器の純水にガドリニウムを加えて中性子を同定することで反ニュートリノに十分な感度を得るもので、長年の準備研究を経て実現性の高い研究計画となっている。宇宙の考古学として意義深いテーマであり、特別推進研究として相応しい課題であると判断した。</p>